

『私らしい働き方発見セミナー』 第1部 対談： 「ワークライフバランスと多様な働き方」

2011.12.8

株式会社山口データサービス

代表取締役 山口 智子

株式会社ウイル

代表取締役 奥山 睦

1

プロフィール

• 山口 智子(やまぐち・ともこ)

株式会社 山口データサービス 代表取締役

1987年 文教大学情報学部経営情報学科を卒業後、科学技術計算系の情報処理サービス会社にて、人工衛星画像の処理／解析業務に携わる。

1993年に長男出産のために退社。

しばらくの専業主婦時代を経て、在宅にてデータ入力の仕事を開始。

その後テープ起こし、PCインストラクター、情報処理試験の受験指導など、多種多様な業務に関わる。

現在はFileMakerを用いたシステムの構築や、学術団体向けDBの管理、ネットショップの運営がメインの業務となっている。

2011年7月 自力にて株式会社 登記設立。

2

• **奥山 睦(おくやま・むつみ)**

武蔵野美術大学実技専修科油絵専攻卒業(芸術学士)。
 法政大学大学院政策創造研究科修士課程修了(政策学修士)。
 静岡大学大学院工学研究科客員教授。
 独立行政法人中小企業基盤整備機構経営支援アドバイザー。
 公益財団法人日本生産性本部認定キャリア・コンサルタント。
 一般社団法人絆塾理事。
 1990年、出版物やホームページの企画制作プロデュースを主とする株式会社ウイルを設立。代表取締役。
 2000年、東京都大田区の女性経営者異業種交流会「TES」のメンバーの共同出資による、パソコン指導及びコンサルタント会社、株式会社イーテス設立。6年間の代表取締役を経て、現・取締役。東京都大田区の中小製造業、商店などのIT化支援に携わる。
 2004年、東京都大田区から長年の区政発展への寄与により、区政特別功労者として表彰される。
 <著書>
 『メイド・イン・大田区』(2008 静岡学術出版)、
 『職人の作り方』(2008 毎日コミュニケーションズ)、
 『大田区スタイル』(2006 アスキー)等。

山口 智子 キャリアヒストリー

西暦	年齢	キャリア	スキル・取得資格
1986	22歳	大学4年	情報処理技術者2種
1987	23歳	科学技術計算受託会社に入社	
1990	26歳	【結婚】	情報処理技術者1種
1993	29歳	【第1子出産&退職】	
1994		【Mac購入】	
1995	31歳	在宅での作業開始 (年末限定、年賀状入力業務)	
1996		【在宅ワークブーム】	CG検定 2級
1997	33歳	【第2子出産】	マルチメディア検定 2級
1998	34歳	ネットを通じた初の受注 ⇒ 仕事が回りだす。 データ入力、テーブルライト、コンテンツ作成。	
1999	35歳	仕事の幅、取引先、SOHO仲間が一気に増える。 第1回 e-wokrer フェスタ	初級システム アドミニストレーター(1)
2000	36歳	地元小中学校サポート業務 開始	初級システム アドミニストレーター(2)
2001	37歳	【全国でIT講習会】	.com Master2001 ★
2002	38歳	FileMakerPro開発・サポート	.com Master2001 ★★
2006	42歳	ネットショップ 運営サポート	
2012	47歳	起業	

在宅ワークという働き方について

- 育児・介護等との兼ね合い
- 自宅で働くメリットとデメリット
- 人脈の大切さ
- スキルアップのためにしてきたこと
- 健康面での注意点
- その他

5

多様な働き方について

- 転勤族の妻
→夫の海外転勤に伴い、国内で担当していたホームページ更新業務をそのまま受託
- シングルマザー
→2人の子育てをしながら、テープ起こし、原稿執筆、ホームページ管理などで生活を支える。
- 子供の非行
→子供を転校させるため、自宅を引っ越して、在宅でSEの仕事続ける→キャリア・コンサルタント資格取得

6

- 夫が鬱に
→世帯主としての覚悟。仕事拡大のために苦
手な営業に注力→ベストセラー漫画家へ
- 在宅ワーカーから正社員へ
→地方都市で在宅ワーカーとしての仕事を評
価され、東京の会社で正社員化
- 在宅ワーカーでキャリアをつなぐ
→育児期に出版社を退職→6年間在宅ワー
カー(編集者、ライター)→出版社契約社員→
出版社正社員

7

まとめ:キャリアについて考えてみる 『計画的偶発性理論』

- キャリアは予期しない偶然の出来事によって大き
く影響される。
- 偶発的な出来事によってキャリアが形成されてい
くにしても、自らにとって好ましい偶然の出来事が
起こるように、常日頃から能動的な行動パターン
をとっていれば、より好ましい偶然が起こるし、そ
うでなければあまり起こらない。
- すなわち、偶発的に見えても結果的には必然であ
る。

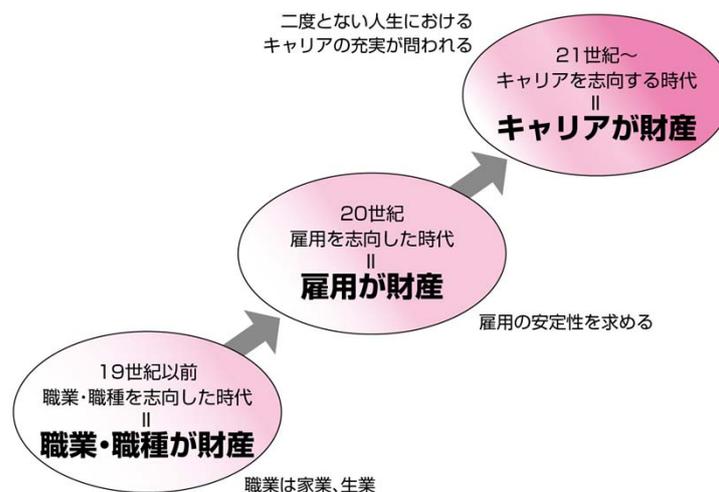
8

- 自律的にキャリアを切り開いていこうとする場合には、偶然を味方につけ、キャリア形成にとって好ましい偶発的な出来事を自分から仕掛けていくべきである。

Krumbolts(1999)によって提唱された「Planned Happenstance Theory」。

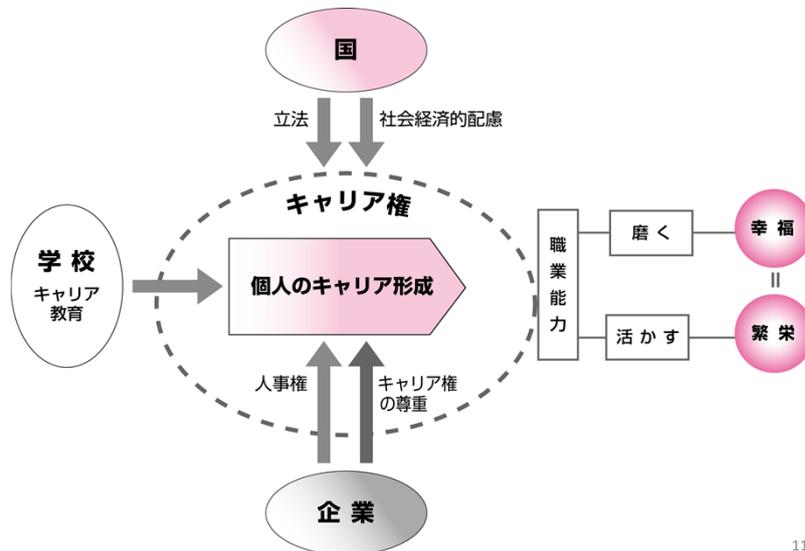
9

キャリアの考え方の変遷



10

キャリア権について



- 「キャリア権」とは、個人尊重、幸福追求権、労働権など憲法に根拠を求める理念的性格を表す。

キャリア権については、諏訪康雄(1999)「キャリア権の構想をめぐる一試論」『日本労働研究雑誌』468号pp.54-64労働政策研究・研修機構参照。